

2010年
第10回生物多様性条約締約国会議
の誘致に関する

要 望 書

平成18年9月

愛 知 県
名 古 屋 市
名 古 屋 商 工 会 議 所
社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会

2010年の「第10回生物多様性条約締約国会議」の開催に向け、国として誘致活動を始められますことは、生物多様性のおかれた近年の危機的状況に対する認識、そして、我が国の国際貢献に対する姿勢を示す上で誠に時宜を得たものと存じます。

また一方で、当会議は「自然の叡智」をテーマとし、大成功のうちに幕を閉じた2005年の「愛・地球博」の理念と相通じるものがあります。

つきましては、以下のような条件にあります愛知・名古屋を「第10回生物多様性条約締約国会議」の開催地として日本への誘致活動を進めていただきますよう、お願い申し上げます。

「愛・地球博」の理念・成果を継承する地域です

愛知・名古屋では、「愛・地球博」の開催地として市民も経済界も行政もその理念を理解し、共有することができました。

「愛・地球博」の5周年にあたる2010年を節目に、この成果をさらに継承し、発展させたいと思います。

自然と共生する日本の姿を世界にアピールできる地域です
愛知・名古屋は、世界有数の産業集積を誇る大都市圏でありながら、藤前干潟、海上の森の保全など、身近な自然との共生においてモデルといえる取組みを進めてきました。

さらに、その後背圏には、中部山岳、伊勢志摩始め日本を代表する豊かな自然に満ちあふれた地域が広がっており、生物多様性を将来に引き継ぐための議論を行うにまたとない舞台であります。

世界に貢献する会議の実現に向け地域の総力を結集します
愛知・名古屋には、「愛・地球博」で実証された草の根市民から経済界に至るまでの環境問題への深い理解と関心、高いホスピタリティ、中部国際空港を始め卓越した国際交流機能基盤があります。それらを活かし地域を挙げて、「生物多様性条約締約国会議」の成功に寄与したいと考えております。

平成18年9月12日

愛知県知事 神田真秋

名古屋市市長 松原武久

名古屋商工会議所会頭 箕浦宗吉

社団法人中部経済連合会会長 豊田芳年